

助成事業実施報告書

R 7 年 4 月 29 日

助成事業実施報告書

団体名 よつといで！@北地区

代表者・役職名 氏名 代表 千先佳津恵

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

よつといで！@北地区 こども食堂

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

◆月1回程度こども食堂とプレーパーク・フードパントリーを開催。(8回)

だれでも参加可能な地域の交流の場としてのこども食堂の開催。

フードパントリーについては、月1回こども食堂開催時に地域のひとり親の会と連携し、ひとり親家庭対象に別途開催。

◆夏休み中にこどもの居場所とこども食堂開催(2回)

夏休み学童に行かず留守番しているこどもたちは家に引きこもりがちになるので、友達と夏休みの宿題をしたり、ボードゲームをして過ごす居場所づくりを開催。

お手伝いができる子は一緒におにぎりを作ったり、野菜を切ったり調理の体験をしながらのこども食堂を開催

◆他団体開催の居場所へ出張こども食堂の開催

◆ひとり親家庭・独居のかた・その他気になるご家庭むけに「よるしょく」を開催した

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

この助成金で開催させていただいたこども食堂は8回・出張こども食堂7回、「よるしょく」3回、居場所でのおにぎりやおやつ作り提供2回、合計1320人に提供することができました。ひとり親家庭の支援等をするなかで、夜のこども食堂の必要性を感じた為、「よるしょく」を開催。今年度新しい活動ができました。また新たなひとり親家庭のかた数組とつながることができパントリーもできました。効果としては対象のご家庭だけでなく、同じ小学校・中学校のお子さんのいるご家庭も参加してくださり、保護者同志の情報交換や交流ができた。また、ひとり親で不登校のおこさんがいるご家庭は、親子で疲弊されていたが参加してくださることで、学校以外でお友達とつながることができ、お子さんも明るくなり、続けて参加されています。今後もつながりをもつ必要性を感じました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

課題としてはこども食堂の会場となる地区センターの料金が高いため、引き続き減免処置等を他の団体と協調し、市にお願いしていきたい。「よるしょく」開催が不定期となるため安定して開催できたらと思う。そのためのボランティアスタッフの確保、申込方法、ターゲット等をもう一度確認する必要があると感じています。また本当に必要なご家庭と1家庭でも多くつながることができるよう社協や民生委員さんと連携する。今後の展望としては引き続き月1回のこども食堂＆プレーパークの開催と「よるしょく」の安定開催、こどもたちと密にかかわることのできる居場所の開催日を増やしていくたらと思います。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

